

明和中学校 開校



上品でスタイリッシュな
デザインの制服

校章の由来

学校生活が微笑みにあふれ、親和と友愛の心を育ててほしいという願いから、「微笑み」の花言葉があるツルハナナスの花をイメージしてデザインしました。花びらの右下にある5本のラインは、鷺宮・白鷺・若宮・大和・野方の5地域を表し、それぞれの地域が協力し合う様子を表現しています。花を照らす太陽の光には、学校・家庭・地域からの温かなまなざしに包まれながら、生徒たちが明るく健やかに成長し、希望に満ちあふれた未来へ高く飛躍してほしいという思いを込めました。

校歌の制作者については、作詞・作曲ともに、シンガー・ソングライターとして活躍中の尾崎亜美氏に依頼することを決定しました。

明和中学校は、今年の4月からは現在の第四中学校の位置で開校し、2025年度以降に、旧若宮小学校の位置にできる新校舎が完成したのち、移転します。



右のイラストは、その新校舎のイメージ画像。



地域の情報

●鷺宮図書館 鷺宮3-22-5 電話:03-3330-1044 FAX:03-3330-7397

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては中止となる場合があります

定例おはなし会 日時:毎週土曜日 午後2:30~2:45

会場:鷺宮図書館 児童室 (直接会場へ)

子ども読書の日子ども会 日時:4月24日(土) 午後2:30~

会場:鷺宮区民活動センター 洋室2号

定員:30名(申込制)

申し込み問い合わせは電話か図書館カウンターまで

休館日:3月11日(木)・26日(金)・4月8日(木)・30日(金)

●鷺宮地域包括支援センター 若宮3-58-10 電話:03-3310-2553

脳いきいき講座 日時:4月16日(金)・30日(金) 午後2:00~4:00

会場:鷺宮区民活動センター 洋室2号

定員:20名(要予約) 中野区在住65歳以上

申込み:上鷺宮地域包括支援センター 3577-8123

認知症サポーター養成講座

日時:4月20日(火) 午後2:00~3:30

会場:武蔵野療園しらさぎ桜苑 3階多目的室

定員:5名(要予約) 中野区在住の方

申込み:鷺宮地域包括支援センター 3310-2553

武蔵野療園しらさぎ桜苑 5356-5477

※来場前の事前検温、来場時の検温・消毒・マスク着用をお願いします

●来年度事業のアイデア募集!●

鷺宮区民活動センター運営委員会では、来年度の事業として、新しいアイデアを募集しています。希望のイベントやアイデアがありましたら、ご連絡ください!

■連絡先:鷺宮区民活動センター運営委員会(連絡先1面)

●鷺宮区民活動センター集会室の抽選会●

~~3月15日(月)は2カ月分(4月・5月分)を実施します~~

抽選会の開催時間等、詳細はお電話にてお問合せください。

■お問い合わせ:鷺宮区民活動センター(03-3330-4111)

児童館だより

西中野児童館 白鷺3-15-5

TEL:03-3339-9826

FAX:03-3339-9825

★子育てなかま作り支援事業★

『のびのびBABY・キッズ』

2021年度は
4月14日(水)から始まります
乳幼児親子の皆さんも、
児童館へぜひどうぞ
詳細は西中野児童館へ
お問い合わせください

若宮児童館 若宮3-54-7

TEL:03-3330-7899

FAX:03-3330-7860

小学生対象の定例行事のご案内
予約はいりません

<おはなし会>

3月24日(水) 午後3:30~4:00

若宮親子読書会のみなさんによる読
み聞かせの時間です

<占いの館>

3月19日(金) 午後4:00~

地域のボランティアの皆さんが
色々お話を聞きながら占ってくれます

※各種催しの情報は、新型コロナウ
イルス感染拡大の影響により随時
更新されています。詳細は直接各
施設へお問合せください。

令和3年(2021年)

3 / 10

No. 364

題字:長谷川昂氏

鷺宮

さぎのみや

白鷺

《鷺宮地域ニュース 編集・発行》

鷺宮区民活動センター運営委員会

〒165-0032 中野区鷺宮3-22-5

E-mail:nakano_saginomiya@nifty.com

TEL:03-3330-4127 FAX:03-3330-4131

http://www.nakano-saginomiya.gr.jp



ありがとう八中!

特集:第四中と第八中の伝統をつなぐ「明和中学校」4月開校!

平成7年度 第八中学卒業アルバムより写真引用

「ありがとう第八中学校!」
「中野八中 我等が誇り」
(校歌原譜から抜粋)
第八中学校第十九代校長 竹之内勝
昭和二十二年(一九四七年)
四月一日、「希望みなぎる(校歌
から抜粋)」中野区立第八中学校
が校名・設置認可されました。そ
の日から、平成、令和と積み重ね
た歴史に、令和三年(二〇二一年)
三月三十一日、終止符を打つこと
となります。実に七十三年間で一
三・三四二人の卒業生を送り出
し、卒業生は、地域で、国内外で
活躍されています。先日、その
代表として、昭和五十四年度卒
業の爆笑問題・田中裕二さん、昭
和六十年卒業の歌舞伎役者・
河合雪之丞さん、同じく昭和六
十年卒業の落語家・林家きく
姫さんが来校され、当時の八中の
様子や、ご自身の生き方を通して
生徒一人ひとりにこれからの生
き方を考える機会とエールをいた
だき、同窓生や地域の方々、保
護者の皆様と共有しました。
八中の教育目標である「からだ
をつくる」「心をみがく」「わざを
練る」を「八中のいぶき」として、
統合新校である明和中学校を創
つていく在校生七十七人と明和
中学校へ異動する教職員が、保
護者・地域の方々と共にしっかりと
引き継いでまいります。第八中学
校を支えていただいた全ての皆様
に、心から感謝いたします。
ありがとうございました。

特集：第四中と第八中の伝統をつなぐ「明和中学校」4月開校！

いよいよ4月より第四中学校と第八中学校の統合校、「明和中学校」の歴史がスタートします。

鷺宮・白鷺・若宮・大和・野方の5地域の子どもたちが明るく健やかに成長してほしい、第四中学校と第八中学校の伝統や校風を互いに尊重し、子どもたちが和やかに学校生活を送り、新しい時代を創造していったほしいという願いを込めて名づけられた「明和中学校」。本特集では、統合する第四中・第八中それぞれの行事や特色をまとめてご紹介します。

第四中学校

第八中学校

① 学 校 沿 革

昭和22年5月、終戦から間もないまだ物資にも事欠く中で同時期に開校した両校は今年で開校74年を迎えました。

② 校 章



昭和22年、四中の象徴である四葉の校章が生まれました。当年1年生の川島路子さんの図案をもとに作成されたものです。



昭和24年、校舎落成を記念して全校生徒・職員で考案されました。豊かな知性と情操を身につけ、人として品格を高めることをペンのデザインで表しています。

③ 校 内 二 大 行 事

1) 運動会

毎年春に行われる運動会は、開会時の聖火採火式がユニークです。オリンピック発祥の地ギリシャ・オリンピアの聖火採火式を参考に、生徒が火の女神に扮して採火した炎の模型を、聖火ランナーへとつなぎ、ランナーが聖火台に点火します。さらに、生徒、保護者、地域の皆様の総勢300名以上で踊る「東京五輪音頭2020」も見どころのひとつです。



写真：聖火採火式の様子

2) 四中祭

例年秋に体育館で行われる四中祭では、総合的な学習の発表やビブリオバトル(書評合戦)、理科自由研究、吹奏楽などの日頃の活動・成果の発表と、クラス対抗の合唱コンクールが行われます。注目は、合唱コンクールの最後に披露される三年生全員合唱。深みのある圧巻の歌声に胸が熱くなります。



1) 体育祭

八中体育祭名物といえば、何と言っても「大江戸ダンス」！オリジナルの振付は、3年生のダンスリーダーを中心に練習し、踊り継がれています。1年生から3年生の全校生徒による恒例の演目で、保護者の方や地域の方も毎年楽しみにしています。さらに全校競技の大縄跳びも見どころです。たくさんの縄が弧を描き、クラス全員が息を合わせて跳ぶ姿は息を呑む大迫力！



写真：大江戸ダンスの様子

2) 文化発表会

例年10月頃に開催される文化発表会は、ルネ小平を会場として午前中は「意見発表の部」、午後は「音楽発表の部」に分かれています。「意見発表の部」では各クラスの代表生徒が人権に関わるテーマで意見を発表、「音楽発表の部」ではクラスごとの合唱を披露し、外部からお招きした方々に審査・表彰していただいています。



④その他の取り組み

1) オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

四中は、東京都オリンピック・パラリンピック教育のアワード校に指定されていて、来たるオリンピックイヤーに向けて、各国の文化や日本について知る取り組みをおこなっています。パラスポーツの発展に寄与する活動として、家庭で使用しなくなった衣類を集めその収益をパラスポーツ競技団体に寄付する「ふくのわプロジェクト」などへも参加しています。

1) 地域活動への参加

八中では、生徒の地域活動への参加を大切にしています。生徒会の活動方針にも、ボランティア活動を通して地域との交流を深めることが掲げられていて、「地域ゴミ無くし隊」による清掃や、鷺宮小学校の盆踊り、鷺宮地区まつりのお手伝いなどにたくさんの生徒が参加しています。鷺宮小学校・美鳩小学校の運動会では、卒業生を中心に母校の為に会場を駆け回るボランティアの子たちの姿が印象的です。

それぞれの活動や伝統を持ち寄る「明和中学校」の子どもたちは、どんな行事や取り組みで新しい伝統を作り、つないでいくのでしょうか。今からとても楽しみです！



第八中学校卒業生座談会

昨年12月12日に開催されました「地域連携講話・八中感謝年先輩に学ぶ」では卒業生の3人のゲストティーチャー(爆笑問題 田中裕二さん：昭和54年度卒業・河合雪之丞さん：昭和60年度卒業・林家きく姫さん：昭和60年度卒業)を迎え、生徒たちと交流しました。第八中学校最後の年にふさわしい有意義な会となりました。せっかく集まっていた卒業生の先輩方々、そのまま帰ってしまうのはもったいないと、午後には雪之丞さんときく姫さんに、卒業生で二人の在学当時の先生でもあった脇正子さん、卒業生で現PTAでもある坂東ルツ子さんも加わって、座談会を開催しました。第八中学校の校歌を聞くと、自然に口ずさんでいたゲストの皆さん〇×クイズなどを交えて、それぞれの第八中学校時代の思い出を楽しく語っていただきました。



「今日の学生の皆さんを見ていると本当にみんな真面目で、私たちの時はあんな学生はクラスにひとりぐらいしかいなかったですよ(笑)。あの当時、先生方にはたくさんお世話になったというか、本当に迷惑をかけたと思います。」
「どんなものでも新しくなっていくものだと思いますので、明和中学になっても、その卒業生であることは変わらないと思います。」

元歌舞伎役者・新派としてご活躍の河合雪之丞さん



女性落語家としてご活躍の林家きく姫さん

先輩と交流した第八中学校生徒の感想



懐かしい思い出で胸がいっぱいになりましたみなさん、本当にありがとうございました

夢や目標が見つからなくても今はまだ大丈夫と言ってもらえて気が楽になりました。いつかは興味がもてることにたくさん出会い、自分が魅力を感じられる仕事につきたいです。(1年生)

夢や目標があって、それを叶えたいと強く思うことが成功するためには必要なんだと感じました。今自分が抱いているものを、これからも強い意志で大事にしたいです。(2年生)

最近、進路について悩むことが多く、将来についてあれこれと考える機会がありました。今日の先輩方のお話で「中学生の今、将来のことが決められないのはごく普通だし、あたりまえ。いつか何かに夢中になれる時に少しずつやりたいことが見えてくる。」という話が心に残りました。私も焦らず、その日を待ちたいと思えました。(3年生)

今の段階でもさほど将来について悩まなくても良いと分かりました。八中は素晴らしい所だと改めて気付きました。あのような活躍されている方を生んだ中学校の最後の代の人であることを誇りに思いました。ここが未来への夢につながる原点なのだから、より一層たくさん学んで、たくさん考えてこれから生きていこうと思いました。(1年生)

